

非ステロイド性抗炎症薬 や

低用量アスピリン を

長期処方されている  
あなたへ

[監修]

川西市立総合医療センター

総長 三輪 洋人 先生



非ステロイド性抗炎症薬や低用量アスピリンを  
長期処方されているあなたへ

## お薬による消化性潰瘍



消化性潰瘍には、別の疾患で処方されたお薬の  
作用で起こる**薬剤性潰瘍**もあります。

### 非ステロイド性抗炎症薬

炎症を抑え、鎮痛や解熱作用  
を持つお薬

### 低用量アスピリン

非ステロイド性抗炎症薬の一種で、  
狭心症や心筋梗塞などの治療に用い  
られるお薬

これらのお薬は、痛みや発熱の原因となる「**プロスタグランジン**」を作る力を弱めます。しかし同時に、**プロスタグランジンの胃粘膜を保護する力も弱めるため、胃酸によって胃粘膜が荒れ、消化性潰瘍が起きやすくなります。**



非ステロイド性  
抗炎症薬



低用量アスピリン

プロスタグランジンの産生を抑制

痛み・発熱を抑える

胃粘膜が荒れる

消化性潰瘍(薬剤性潰瘍)

## 治療にあたっては医師とよく相談を

非ステロイド性抗炎症薬や低用量アスピリンを長期間飲むことによって起こる薬剤性潰瘍の場合は、治療の際に現在の疾患で出されているお薬に加えて別のお薬と一緒に飲むことや、今飲んでいるお薬を一旦止めるなどが必要となることがあります。



他のお薬との  
併用？

お薬の休薬？



お薬の服用については自分で判断せず、  
医師または薬剤師とよく相談し、指示を  
守って治療を行いましょう。

医療機関・薬局名